

## 5 五島地域（五島市、新上五島町）

### (1) 地域の特徴

- 九州の最西端に位置し、129の島々からなる本地域は、比較的平坦な福江島を除き、海岸線は屈曲に富んでおり、海と山が織りなす美しい自然景観により西海国立公園に指定されています。
- 遣唐使やキリシタンの歴史など数多くの歴史・文化遺産に恵まれており、観光産業は水産業、農業に並ぶ基幹産業となっています。
- 本地域全域に自生する椿は約900万本と日本一の規模となっています。この「椿」を地域資源として地域振興に最大限活かすため、総合特別区域法<sup>※</sup>による地域活性化特区<sup>※</sup>に「椿による五島列島活性化特区<sup>※</sup>」が指定されています。
- 海洋再生可能エネルギー利用のための実証海域である「実証フィールド」に久賀島沖（潮流発電を対象）、椗島沖（浮体式洋上風力発電<sup>※</sup>を対象）の2海域が選定され、具体的な取組が進められています。
- 対馬暖流と沿岸流との影響から魚の回遊が多く、西日本有数の好漁場を形成しており、古くから水産業が盛んな地域となっています。また、五島列島はリアス式海岸で変化に富み、養殖に適した水域が多く、クロマグロ、ブリなどが養殖されています。
- 農業については、畑作中心の経営であり、肉用牛、養豚、葉たばこ、ブロッコリーなどの主幹作物に加え、茶、たかな、スナップエンドウ、トマト、アスパラガス、ハウスびわなど多様な園芸品目の産地化を進めています。さらに、近年は、パプリカの新産地育成や「五島ワイン」の生産・加工・販売体制の確立（6次産業化）など地域の特性を活かした農業振興に取り組んでいます。
- 製造業については、豊富な水産品を原料とする蒲鉾や干物等の水産加工品などの食料品製造業が大きな割合を占めています。また、伝統的な産品として、あご製品、五島手延うどん、かんころ餅、椿油等各種椿製品などの製造が盛んです。

### (2) 地域の課題

- 平成22年現在の人口は63千人と昭和55年の99千人と比較して30年間で36千人、約36%減少しています。平成52年には32千人となり、平成22年と比較して31千人、約49%減少すると推計されています。
- 高齢化も進んでおり、平成22年の高齢化率は県平均（26%）を大きく上回る33%となっています。また、15歳未満人口も減少を続けており、人口減少と併せて少子化・高齢化も進行しています。
- 特に、五島市の二次離島では高齢化や人口減少が急速に進んでおり、付加価値の高い農林水産特産品の創出と販路拡大を行い、雇用創出・所得向上を図って人口減少の抑制につなげる必要があります。
- 平成28年に世界遺産登録を目指す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産である教会堂を中心としたキリスト教関連遺産や、日本遺産「国境の島 壱岐・対馬・五島 ～古代からの架け橋～」を構成する文化財等を訪れる観光客の増加が見込まれるため、受入体制整備を推進する必要があります。
- 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」を最大限に活かすため、五島市、新上五島町との連携を強化し、観光資源の磨き上げや周遊ルートの開発など五島地域一体となった取組を推進する必要があります。
- 基幹産業である第1次産業の総生産額は近年横ばいの状況ですが、就業者の高齢化や後継者不足など厳しい状況が続いています。農業については耕作放棄地や鳥獣被害への対策、水産業においては、水産資源の減少、魚価の低迷、燃油価格の高止まり、流通経費の負担などへの対策が大きな課題となっています。
- 「椿による五島列島活性化特区」などを活用し、椿を活かした産業振興等に取り組んでいるものの、全国的な知名度はまだ低く、今後一層、PRを強化する必要があります。
- 海洋再生可能エネルギーによる島づくりを進めるため、浮体式洋上風力発電や潮流発電の開発促進や実用化に向けて、漁業者とも協調しながら地域や関係機関が一体となって取り組むことが必要です。
- 航路・航空路は住民生活、医療はもとより観光や産業、経済、文化の振興に大きな役割を果たしており、今後も航路・航空路の確保・維持・改善を図るとともに、運賃低廉化への取組を進める必要があります。

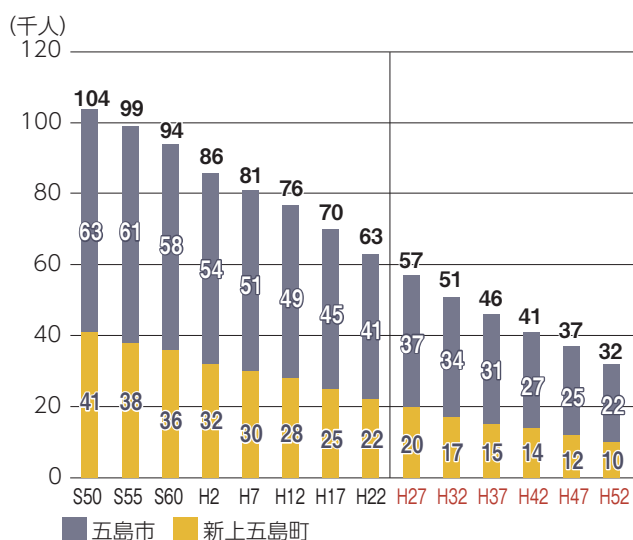
※総合特別区域法:先駆的な地域活性化の取組に対する国の支援制度を定めた法律

※地域活性化特区:地域資源を最大限活用した地域活性化を目指す取組で国から総合特別区域法による指定を受けたもの。規制緩和や財政・金融上の特例措置などがある

※椿による五島列島活性化特区:五島列島に多く自生する椿を最大限活用した地域活性化の取組。平成24年7月に地域活性化特区に指定（五島市、新上五島町の全域）

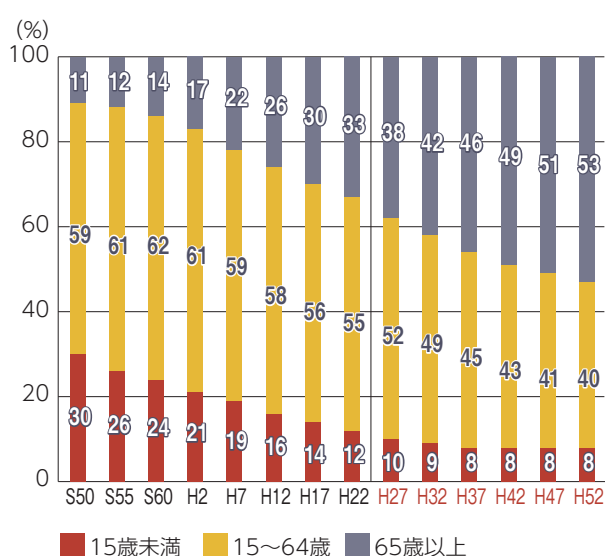
※浮体式洋上風力発電:海底に固定せず、海に浮かべる方式の風力発電施設。水深がすぐに深くなる日本では有効な方式。五島市椗島沖で平成22年度より実証事業を開始

### ■ 総人口の推移及び予測



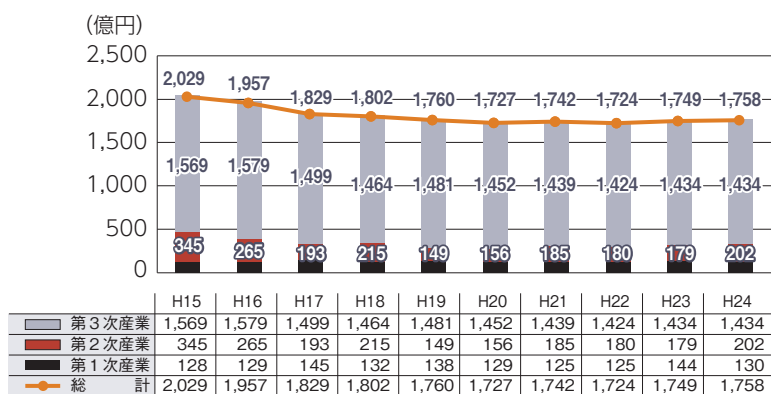
(出典) 国勢調査 日本の地域別将来推計人口

### ■ 年齢3区分人口比率の推移予測



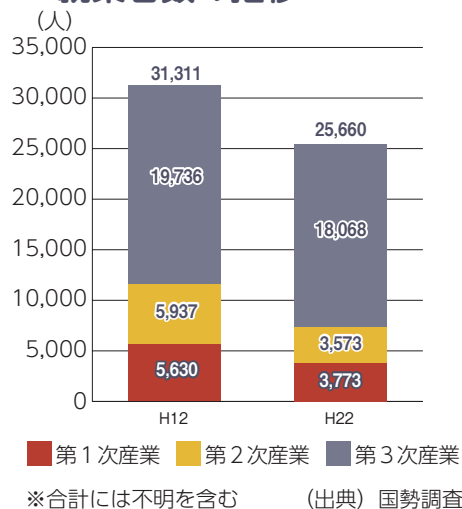
(出典) 国勢調査 日本の地域別将来推計人口

### ■ 総生産の推移

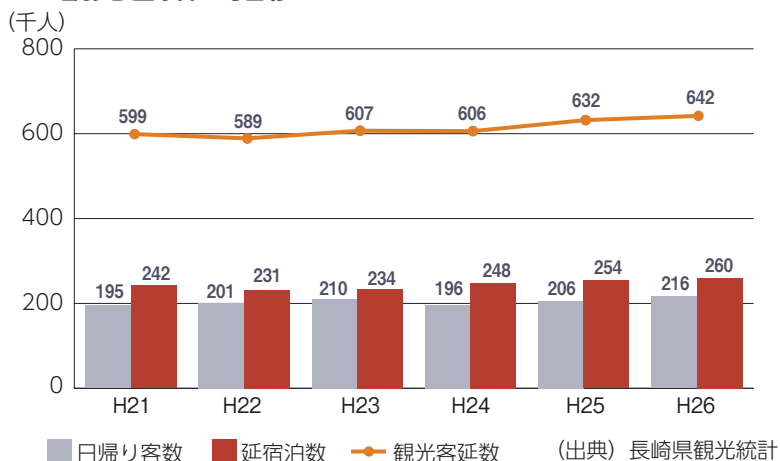


(出典) 長崎県市町民経済計算

### ■ 就業者数の推移



### ■ 観光客数の推移



## 5 五島地域（五島市、新上五島町）

### (3) 地域のめざす姿

「椿」「教会」など豊かな自然、優れた歴史的文化的資産や新鮮な農林水産物などの魅力的な物産資源と再生可能エネルギーを活かした、人を呼び込むことができる活力ある五島列島

### (4) 数値目標

指標	基準値(基準年)	目標値(目標年)
延べ宿泊者数	26.0万人(H26)	30.6万人(H32)
第1次産業新規就業者数	31人 (農林業:H22-H26平均) (水産業:H26)	43人/年 215人(H28-H32累計)

### (5) 地域づくりの方向性

#### 1 五島独自の歴史・文化・自然を活かした魅力あるしまづくり

##### 主な取組

世界遺産候補である「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産である教会や、日本遺産「国境の島 壱岐・対馬・五島 ～古代からの架け橋～」として大陸との交流の歴史を物語る寺社など、島の貴重な資産を活かすことで、五島地域を訪れた観光客に満足してもらい、旅行先として再度選ばれるよう、行政と民間が一体となって、観光資源の磨き上げや着地型旅行商品<sup>\*</sup>の開発など観光客の受入体制整備を推進します。

##### 取組例

- 五島市、新上五島町の連携を強化し、一体となって個人観光客の受入体制整備に取り組む「五島列島おもてなし協議会」の活動を推進
- 地元住民がお勧めする周遊・滞在型の島内発着旅行商品の開発・販売
- しまの歴史、文化に一定の知識を持つガイドの育成、技術向上
- 観光関連事業者のおもてなし向上を目的とした各種研修会の実施
- 公衆無線LAN環境の整備による観光客の利便性向上
- より良い観光施策に繋げるための観光客満足度調査の実施、分析



おもてなし研修

西海国立公園など、豊かな自然景観に恵まれた五島列島の特性を活かした観光資源の磨き上げや、農林漁業等を活かした体験メニューづくり及び人材育成を行うなど、ニューツーリズムの推進を図ります。

##### 取組例

- 五島列島の雄大な自然を体感することができる観光プランづくり
- 豊かな自然、地域の文化を堪能できるウォーキングコースの開発
- 自然系ガイド及び体験インストラクターの育成、技術向上
- 農林漁業体験民泊の受入拡大



高浜海水浴場



矢堅目展望所



嵯峨島

<sup>\*</sup>着地型旅行商品:旅行者ニーズの多様化に合わせ、旅の目的地の穴場や楽しみ方をよく知っている地元旅行業者や観光協会が主導して企画・催行される旅行商品

人口の約3割がキリスト教徒である韓国からの巡礼ツアーなど地理的・歴史的に身近な東アジアをターゲットにした外国人観光客の誘致に取り組みます。

- 取組例
- 多言語表記のパンフレット等、情報ツールの作成による外国人観光客の受入体制整備や誘客促進
  - しまの歴史、文化を体感することができる外国人対応メニューづくりの推進
  - 海外からの送客を行う旅行業者を支援し、旅行商品の造成を促進



旧五輪教会

## 2 地域が支え合い愛着をもって 住み続けられるしまづくり

### 主な取組

地域間交流の促進や、住民生活と円滑な経済活動のためには、人や物がスムーズに移動できることが重要であり、そのための道路網や港湾・漁港施設の整備を進めるとともに、地域間の人的ネットワークづくり、バス路線や航路、航空路の確保・維持・改善と運賃の低廉化のための取組を進めます。

- 取組例
- 地域の商店や生活サービスを繋ぎ、集落地域の維持活性化を支援
  - 航路、航空路の維持や利便性向上等への支援
  - 路線バスの維持等への支援
  - 道路改良工事の推進



五島航路と航空路

五島地域は高齢単身世帯の割合が高く、保健・介護サービスや相談機関の充実を図るとともに、医療提供体制の確保により住民一人ひとりが安心して暮らしていける地域を形成することが必要です。関係機関が連携を密にして各種取組を推進できるよう環境整備に努めます。

- 取組例
- 認知症の人の地域支援体制の拡充強化
  - 単身高齢者が多い地域の状況に応じた医療介護の連携、在宅医療の推進

## 3 住みやすい環境を整え、 呼び込むことができるしまづくり

### 主な取組

合計特殊出生率は比較的高いものの、20歳台及び30歳台女性の減少が九州で最も多いとされており、男女の新たな出会いや若い世代が安心して子どもを産み育てることができる環境を整備するなど、少子化対策を推進します。

- 取組例
- 独身男女の出会いの機会創出のためのイベント助成
  - 医療保険が適用されない特定不妊治療の経費を一部助成
  - 乳幼児福祉医療費の助成、多子世帯の保育料軽減や幼保連携型認定こども園の整備

県内でも移住先として人気が高い五島地域へのUIターンを推進するため、就業や住まいなど移住希望者の不安を解消し、安心して住み続けることができる環境の整備に取り組みます。

- 取組例
- 移住・定住相談ワンストップ窓口や空き家バンク制度、短期滞在型住宅の整備
  - 農林水産業への新規就業者を支援するための研修の充実や奨励金制度
  - 定住者創業・就業のための空き店舗等の登録及び情報提供や就業相談・研修等実施による経営の安定化



## 5 五島地域（五島市、新上五島町）

離島留学の推進により島内外の意欲的な生徒が交流、学習する場を提供し、学生生活の充実化による人材育成及び地域の活性化を図ります。

- 取組例
- 二次離島の小中学校に留学する離島留学生及び受入保護者を支援
  - 高校生の離島留学制度(五島高等学校スポーツコース等)の充実

## 4 五島の優れた地域資源を活かした産業づくりによる雇用の創出

### 主な取組

新鮮な農林水産物、五島手延うどん、かんころ餅等多くの魅力的な物産資源の高付加価値化及び流通コスト削減により、生産者の所得向上と担い手の確保、雇用の創出を図ります。

- 取組例
- 農林水産業への新規就業者を支援するための研修の充実や奨励金制度(再掲)
  - 鮮魚活メ技術<sup>\*</sup>の研究と向上及び技術の認定による五島産水産物の高付加価値化
  - 五島手延うどんの産地ブランドとしての確立と海外への販路拡大
  - 原料用かんころ生産者・かんころ餅製造事業者の組織化と生産・販売体制の強化
  - 畜産クラスター計画(ドーム牛舎、繁殖雌牛導入、肉用牛ヘルパー組織強化)推進による肉用牛増頭
  - 離島から本土への戦略産品の移出等に係る海上輸送費支援
  - 原料調達及び島外輸送の共同化によるコスト削減
  - 有力企業とのパートナーシップ締結によるPRと販路拡大
  - 島内一次加工(フリッチ材<sup>\*</sup>、製材品)による高付加価値、利用間伐の促進及び島外販路の拡大による新たな雇用創出



五島うどん



海鮮丼

産学連携による人工種苗施設<sup>\*</sup>整備等で注目されている養殖クロマグロや恵まれた水域を活かした貝類養殖の振興を図ります。また、クロマグロ天然種苗等の管理に努め水産資源の持続的利用を推進します。

- 取組例
- 島内で生産されたクロマグロ人工種苗の活用と基地化の促進
  - 環境負荷が少なく今後需要が見込まれるイワガキなどの貝類養殖の拡大



クロマグロ

極めて人口減少が深刻な五島市の二次離島である久賀島と花島において、百年先も暮らし続けていける「しまづくり」を目指した振興策の成功事例創出を図ります。

- 取組例
- 久賀島において、「久賀島ファーム<sup>\*</sup>」を核とした新規農林水産加工品の創出及び新たな販路確立による雇用創出・所得向上
  - 久賀島において、農業基盤整備事業の推進と高単価作物の栽培促進による所得向上
  - 花島において、水産加工場の整備や新たな漁法の導入、漁業就業者の確保対策、クロマグロの養殖誘致など基幹産業である水産業を核とした雇用創出・所得向上



久賀島ファームによる特産品の販売



久賀島の棚田

<sup>\*</sup>鮮魚活メ技術:魚を漁獲した後の処理方法で、魚を即殺することにより死後変化の進行を遅らせ鮮度を保つ技術

<sup>\*</sup>フリッチ材:丸太の三方または四方を荒く切り落として、板などに加工しやすい状態にした角材

<sup>\*</sup>人工種苗施設:豊田通商がクロマグロの卵を人工孵化させ稚魚に育てる種苗施設を五島市に開設

<sup>\*</sup>久賀島ファーム:新規農林水産加工品の開発と販路拡大等による久賀島の活性化を目的として平成26年2月発足

地域資源である「椿」を地域振興に最大限に活かすため、「椿による五島列島活性化特区」として指定を受けた国の総合特別区域制度を活用し、地場産業の振興や雇用の創出を目指します。

- 取組例
- 椿実の増産に向けた森林整備と採取体制の構築及び植栽の推進
  - 椿を原料とした化粧品や木工品など椿関連商品の開発
  - 椿油や五島つばき茶の機能性の解明と販売促進への活用
  - 椿油(関連商品)の有名店への新たな販路開拓



ヤブツバキの実



ヤブツバキ

## 5 再生可能エネルギーを活用した 新産業の創出

### 主な取組

浮体式洋上風力発電や潮流発電など五島地域の持つ豊かな自然環境を活用した海洋再生可能エネルギーの導入を積極的に推進し、実証プロジェクト等の誘致や実用化の促進、再エネ関連産業の育成を図り、雇用の創出を目指します。

- 取組例
- 産学官民一体となった協議会等による再生可能エネルギーの実用化推進及び関連産業創出の促進
  - 水素の製造、貯蔵、利活用に向けた取組の推進

EV(電気自動車)の導入など地球環境にやさしいエコアイランドの実現を目指す取組により、交流人口の拡大、地場産業の振興等を図ります。

- 取組例
- EVや充電設備等の導入及び更新を支援
  - 超小型モビリティ実証実験で把握された地域ニーズ、機能要件等を反映した産学官連携による車両や関連部品の開発促進



電気自動車

新上五島町において町有林等の間伐材等を利用した木質バイオマスの供給体制を構築し、エネルギー資源としての有効活用を目指します。

- 取組例
- チップ加工施設の誘致
  - 担い手の確保、森林組合の拡充、建設業者の新規参入促進